取扱説明書

DAYTONA

VELONA ELECTRICAL GAUGES

Digital VELONA

スピード&タコメーター

品番：79716

■ご使用前に必ずご確認ください■

このたびは、デイトナ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●「保証書」は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、取扱説明書と共に大切に保管してください。

■ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。取扱説明書内の注意事項は使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
■商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
※取扱説明書内の注意事項を守らずに本商品を使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましても、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■

警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

実施

●本商品は運転に支障がないように確実に取り付けてください。身体や生命に危害を及ぼす事故を招く恐れがあります。
●使用中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。症状が改善しない場合は、お買い求めの販売店または当社にご連絡ください。
●配線はハンドル操作に支障が無いよう、結束バンド等でフレームにしっかりと固定してください。また、組み付け後は配線等を定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となる場合があります。
●走行中は安全を第一に前方不注意にならないようにご使用ください。取り付け角度や天候の状況によってはメーターが見えにくくなる場合もありますが、危険ですのでメーターを注視し続けることは絶対におやめください。
●本商品を公道で使用する場合は道路交通法を遵守して安全に運転してください。

感電注意

●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。また、使用しない配線は必ず絶縁対策を行なってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。

注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止

●この商品は直流 12V 専用です。バッテリーレス車両、及び 6V 車両、交流電装車両への取り付けはできません。
●濡れた手での作業は行わないでください。感電する可能性があり、大変危険です。
●本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●エンジン周りなど高温になる場所に本体を設置しないでください。熱で内部電子部品が破損する恐れがあります。耐熱温度は約 60℃です。
●ガソリンやブレーキフルードが本体に掛からないよう取り付けしてください。また、その他のケミカルも使用しないでください。本体が変色する場合があります。

分解禁止

●本商品は非分解式です。分解や改造等は行なわないでください。性能を損ない火災や怪我、感電や故障の原因となります。分解や改造をされた場合、保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■

実施

●イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
●本商品は取り付けに⑫結線コネクターや⑨ギボシ端子、⑩クワ型端子を使用します。正しく接続できていないと、正常に機能しなかったり、場合によって本商品や車両の破損につながる恐れがあります。取り付け時には配線場所の確認、通電の確認を慎重に行ってください。
●本体は視認を邪魔しない位置で、且つ運転に支障が無いよう取り付けてください。
●本体の取付位置、作動状態によっては道路交通法および保安基準に抵触する可能性があります。必ず、専門の知識を持った整備士に取り付けを依頼してください。

水ぬれ禁止

●本商品は完全防水ではありません。メーターケース内の温度差や雨天など湿度の高い日はガラス面が曇る場合があります。ガラス面の曇りに関するクレームは受けかねます。あらかじめご了承ください。（対処方法はQ＆Aをご参照ください。）また、高圧洗浄器等の直接洗浄は行なわないでください。内部に水が浸入する場合があります。

その他

●この商品の取り付け作業には車体のサービスマニュアルと専門知識および技術が必要です。信頼のおける認証工場店舗またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●この商品は取り付けの際、配線加工が必要です。配線の知識を持った信頼のおける認証工場店舗、またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付けは確実に行ってください。また、走行中ブラケットのネジ部等が緩まないように確実に締め付けてください。取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら各部のネジ部の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎必ず点検し、同様の増し締めを行ってください。
●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でタイヤを回す作業が生じます。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行ってください。
●本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合があります。また文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

■取り付け条件■

●本商品は、電気式スピードメーターを純正採用している車両用ですが、別売りのデンスピ変換アダプターを使用することで機械式スピードメーターを純正採用している車両（メーターギア&ケーブルを使用する車両）にも取り付けることが出来ます。

●本商品は、以下の条件に当てはまる車両では正常に動作しません。
・弱っているバッテリーを使用している場合。
　※アイドリング時の電圧が安定して直流 9V 以上ないと正しく起動しません。
・バッテリーレス及び 6V バッテリー車。※12V 電装にコンバートしたモデルも含む。
・ポイント点火車。
・交流 12V 車。※APE100/50（バッテリーレス車）、XR100M/50M、モンキーR/RT/BAJA など。
・点火信号、車速信号にノイズが多い場合や波形に乱れが多い車両。
・車種固有の専用回路が採用されているなど、純正電気式スピードメーターの車速センサーから 0V-5V 交互パルス信号をピックアップできない場合。
　※ 例）シャドウ系全モデルは純正電気式スピードメーター車ですが、0V-5V-12V という独自のパルス信号が採用されているため、本商品を使用できません。
・純正メーターユニット内にオートバイを制御するような回路が内蔵されている場合。
・注１）純正メーターを取り外すことによって、車速センサーへの電力供給が絶たれてしまう場合。
・注２）純正機械式スピードメーター装着車で、機械式スピードメーターケーブルの取付口が無い車両。
　※別売りのデンスピ変換アダプターが取り付けできません。

※オートバイ専用品ですが、汎用品のため車体の仕様によっては取り付けできない場合もございます。個々の車両への実車取り付け、作動の可否につきましてはお答えできません。あらかじめご了承ください。

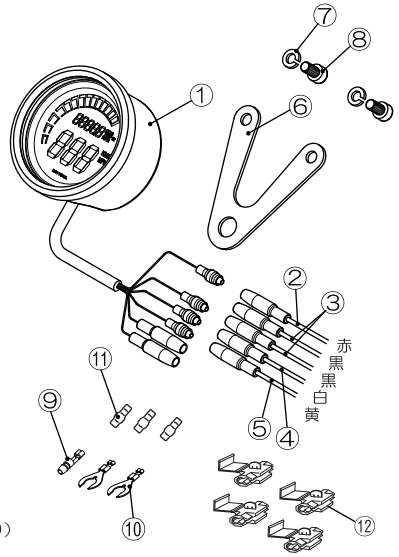
■使用上のご注意■

●純正スピードメーターユニットを取り外す場合、純正スピードメーターユニット内に警告ランプ等のインジケーターが内蔵されている場合には、インジケーターランプ等を移設してください。
●本商品は夏場の炎天下のもとでご使用されると、液晶パネルが黒くなる場合があります。
これは使用している液晶パネルの許容温度を超えると起こる現象で、メーター本体の温度を下げる事で解消されます。商品不良ではありません。あらかじめご了承ください。
●本商品は計測値に ± の公差があります。同商品と比較した場合、表示の切り替えタイミング等が全く同じにはならず、表示が異なる場合があります。商品不良ではありません。あらかじめご了承ください。
●本商品は高出力のＨＩＤや電装部品などを同時装着した場合、急激な電圧降下やノイズの影響により正常に動作しない場合があります。これら電装品の配線とは極力離して設置してください。
●液晶パネルの性質上、一定の視線角度を超えると表示が見えにくくなります。走行中の着座位置で表示が一番見えやすい角度で取り付けを行ってください。

初期設定について
本商品は、車体にそのまま装着しただけでは正常に作動しません。車両にあわせてスピードセンサー設定やタコメーター点火方式設定をすることで使用可能となります。取扱説明書の各種初期設定で入力を行なってからご使用ください。

構成部品

NO	パーツ名	サイズ（mm）	数量
①	メーター本体		1
②	電源ハーネスACC（赤）	450mm	1
③	電源ハーネスGND（黒）	450mm	2
④	スピードセンサーハーネス（白）	450mm	1
⑤	RPMセンサーハーネス（黄）	1200mm	1
⑥	V字ブラケット		1
⑦	スプリングワッシャー	M5	2
⑧	六角穴付きボルト	M5×10	2
⑨	ギボシ端子（オス）	CA104	1
⑩	クワ型端子	M6	2
⑪	スリーブ		3
⑫	結線コネクター		4



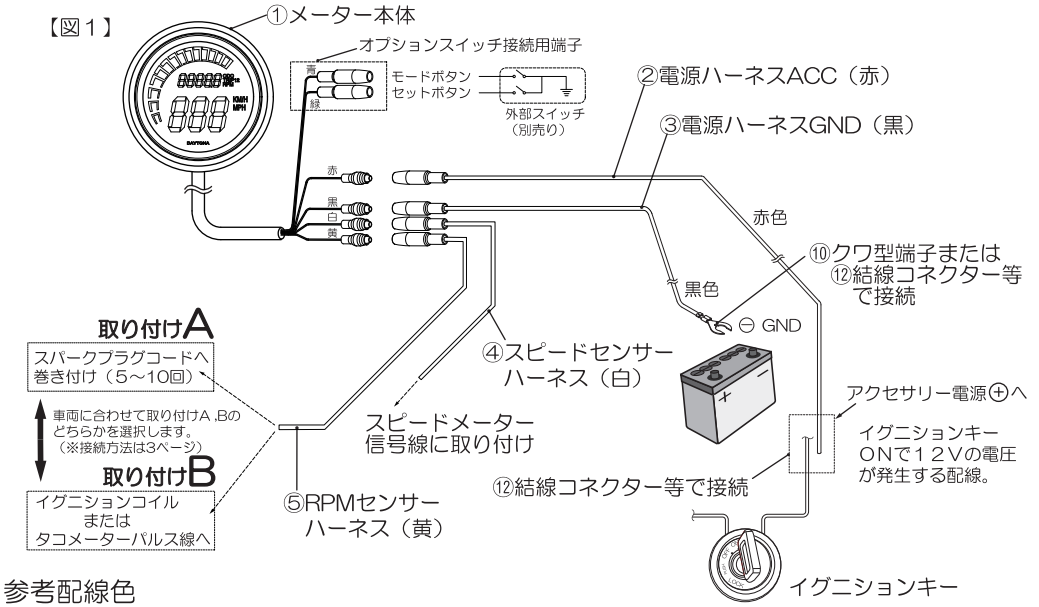
③電源ハーネスGND（黒）は２本付属しますが、その内１本は外部スイッチ（別売り）を接続する際に使用します。通常取り付け時は１本しか使用しません。

商品仕様

■作動電圧：直流９～16V
■寸法：最大Φ68× 奥行 43mm
（ボディ幅Φ60× リング下奥行 29mm）
■表示レンジ：０－399ｋｍ/ｈ（０－250MPH）
■オドメーター：０－99999ｋｍ（mile）
■トリップメーター：０－9999.9ｋｍ(mile）デュアル表示（TRIP1,TRIP2 を切り替え表示）
■バーグラフ表示最大値：4500－20000rpm
（バー上限を 4500－20000（500 単位）の間で任意に設定可能）
※シフトポジションインジケーター機能はありません。
※時計表示機能はありません。
■消費電流：110mA 以下
■液晶：反転液晶（深緑色）

■配線図■

【図１】



参考配線色

配線色	赤色線	黒色線	白色線	黄色線
接続場所	アクセサリー電源	アース線またはバッテリー⊖	スピードメーター信号	回転パルス信号
HONDA	黒/茶 or 桃/青	緑	桃/緑	黄/緑 or 黄/青
YAMAHA	赤/白 or 薄茶	黒 or 黒/白	白/黄 or 桃	橙/緑 or 黄/黒
SUZUKI	橙/緑	黒/白	桃	黄/青 or 黒/黄
KAWASAKI	茶/白	黒/黄	桃 or 桃/青	赤/黄 or 青/白

※参考配線色は全ての車両に適合するとは限りません。仕向地や年式によって異なる場合もありますので必ず各車両のサービスマニュアルでご確認ください。

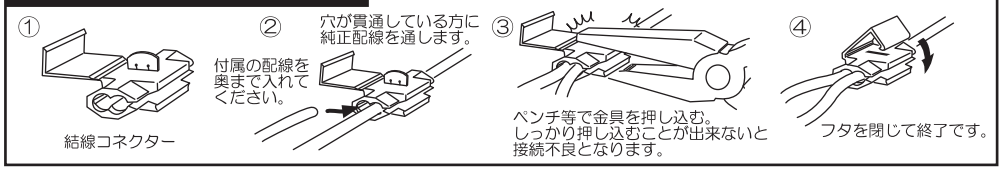
■取付方法■

●商品の取り付けには車体のサービスマニュアルと専門知識および技術が必要です。信頼のおける認証工場店舗またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。また、使用しない配線は必ず絶縁対策を行ってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。
●作業を始める前に①メーター本体を配置したい場所に仮置きし、配線の長さを確認してください。

電源ハーネスの取り付け

▼⑫結線コネクターを使用して、車体のアクセサリー電源（イグニションキーONで１２Vを発生する配線）に②電源ハーネス ACC（赤）を接続します。【図 1】（結線コネクター使用法は下図参照）
▼⑩クワ型端子または、⑫結線コネクターを使用して、バッテリーのマイナス側またはボディアースポイント、またはアース線に③電源ハーネス GND（黒）を接続します。

結線コネクターの使用方法



D1581-DigitalVELONA-JP-01b_2014/6/24

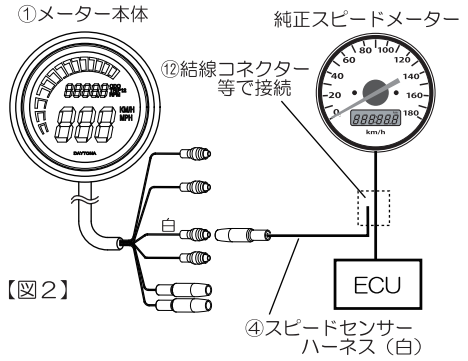
■取付方法■　～続き1

④スピードセンサーハーネス（白）の取り付け

●純正スピードメーターが電気式の場合【図２】

▼⑫結線コネクターを使用して、車体側の純正スピードメーターからＥＣＵ(エンジンコントロールユニット）につながる配線に④スピードセンサーハーネス（白）を取り付けます。

▼ＨＩＤ等の高電圧配線を避けて配線を取り回し、①メーター本体のスピードセンサー線（白）に④スピードセンサーハーネス（白）を接続します。
▼接続後、⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）の取り付けへ進みます。



【図２】

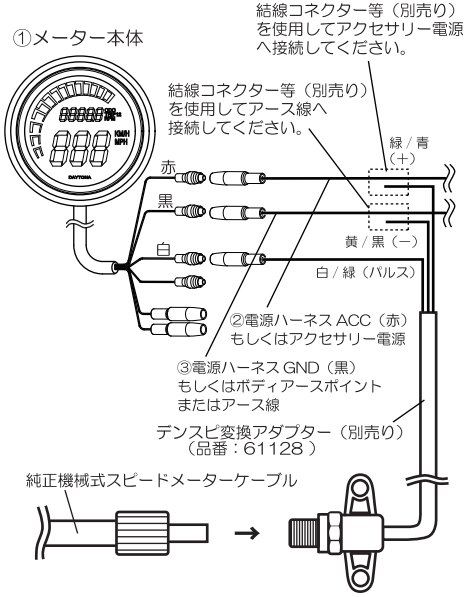
●純正スピードメーターが機械式の場合【図３】

※別売りのデンスピ変換アダプター（品番：61128）が必要です。（その他、取り付けに必要な結線コネクターやギボシ端子など、必要に応じてご購入ください。）

▼純正機械式スピードメーターケーブルにデンスピ変換アダプターを取り付けます。（純正機械式スピードメーターケーブル中心のワイヤーが回転しますので確実に取り付けてください。）
▼デンスピ変換アダプターのパルス線（白／緑）を、①メーター本体のスピードセンサー線（白）に接続します。
▼結線コネクター（別売り）やギボシ端子（別売り）を使用して、デンスピ変換アダプターのプラス線（緑／青）を、②電源ハーネス ACC（赤）、またはその他のアクセサリー電源（イグニションキーONで１２Vの電圧が発生する配線）に接続します。
▼結線コネクター（別売り）やクワ型端子（別売り）を使用して、デンスピ変換アダプターのマイナス線（黄／黒）を③電源ハーネス GND（黒）、もしくはボディアースポイント、またはアース線に接続します。

▼ＨＩＤ等の高電圧配線を避けて配線を取り回し、デンスピ変換アダプター（別売り）を結線バンド等でしっかりと固定してください。（純正機械式スピードメーターケーブルはできるだけ真っ直ぐに、無理な角度に曲がらないように取り付けてください。）
▼接続後、⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）の取り付けへ進みます。

【図３】
〈結線例〉



別売品

・デンスピ変換アダプター	品番：61128	￥5,600（税抜き）
・ギボシ端子セット（CA/CB104型　5個入）	品番：61937	￥450（税抜き）
・結線コネクター（4個いり）	品番：37307	￥400（税抜き）
・クワ型端子（φ6用 5個いり）	品番：69062	￥350（税抜き）

■取付方法■　～続き2

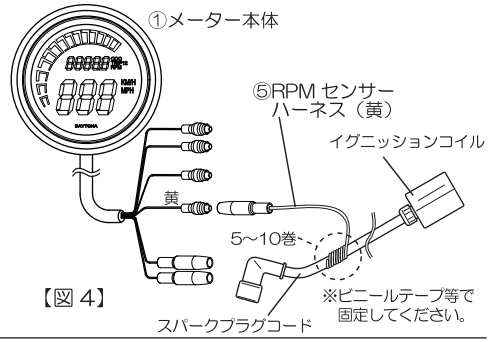
⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）の取り付け

取り付けAまたはBのいずれかの方法を選択して、タコメーター信号を検出します。
接続は必ずどちらか一方の接続方法を選択し、両方接続することの無いようにしてください。
両方に接続すると信号が正しく検出できません。
接続しなかった配線はショートしないようにビニールテープ等で絶縁処理を行ってください。

取り付けＡ

●プラグコードに巻き付け接続する場合【図４】

▼⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）をスパークプラグコードに５～１０回巻き付け、配線が取れないようにビニールテープ等で固定します。
▼ＨＩＤ等の高電圧配線を避けて配線を取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に、⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）を接続します。
※イグニションコイルからプラグコードが２本出ているタイプはどちらか片方のプラグコードからしか取れない場合がありますので、接続後に必ず作動を確認してください。

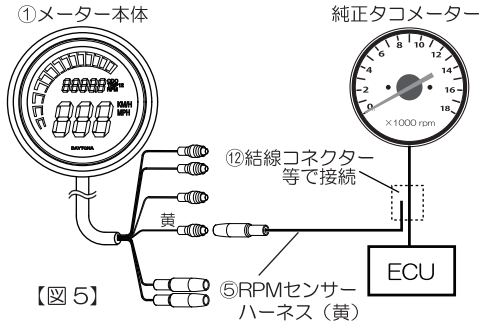


【図４】

取り付けＢ

●電気式タコメーター配線（ＥＣＵ）から信号をとる場合【図５】

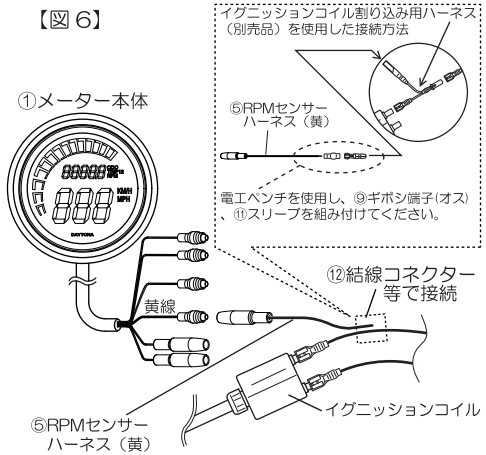
▼⑫結線コネクターを使用して、本体側の純正タコメーターからＥＣＵ(エンジンコントロールユニット）につながる配線に⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）を取り付けます。
▼ＨＩＤ等の高電圧配線を避けて配線を取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に、⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）を接続します。
※ＥＣＵへの接続場所は車両毎で異なります。
車体のサービスマニュアルを参照し取り付けてください。



【図５】

●イグニションコイルから信号をとる場合【図６】

▼⑫結線コネクターを使用して、イグニションコイルの１次側（通常プラス側）（プラス側がアクセサリー電源だった場合にはマイナス側）に④ＲＰＭセンサーハーネス（黄）を取り付けます。（別売りのイグニションコイル割り込みハーネスを使用すると、純正配線を加工しないで取り付けることができます。この場合、電工ペンチを使用して、⑤ＲＰＭセンサーハーネス（黄）に、⑨ギボシ端子（オス）、⑪スリーブをカシメる作業が別途必要です。）
▼ＨＩＤ等の高電圧配線を避けて配線を取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に接続します。



【図６】

●クランクポジションセンサーから信号を取る場合

▼2000 年式以降のハーレーダビッドソンの一部モデルに取り付ける場合に接続する方式です。クランクポジションセンサーへの取り付けには⑫結線コネクター、または別売りのデンタコオプションカプラー（HD 専用タイプ）付属のセンサーカプラーが必要です。
※接続方法はセンサーカプラーの取扱説明書を参照ください。

別売品

・イグニッションコイル割り込み用ハーネス	品番：64230	￥1,000（税抜き）
・センサーカプラー（HD専用タイプ）	品番：64228	￥2,200（税抜き）

■取付方法■　～続き3

●取り付け時のご注意

保安基準にて速度計については固定位置を、『運転状態での直接視界範囲内』と指定されております。走行中、容易に速度を確認できる位置に取り付けてください。
本製品は精密電子機器ですので、取り付け位置は出来るだけ振動の影響が少ない場所へ取り付けてください。純正スピードメーター取り付け位置に近い位置をオススメします。
エンジン横には装着しないでください。エンジンからの直接の振動は付属の⑥V字ブラケットや防振メーターステー（別売り）では吸収しきれません。また、エンジンからの熱でメーター内部の電子部品が破損する可能性があります。（使用されている電子部品の耐熱温度は約６０℃です。）

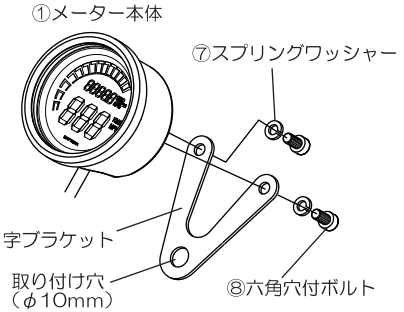
①メーター本体の取り付け

▼⑦スプリングワッシャーと⑧六角穴付ボルトを使用して、①メーター本体に⑥V字ブラケットを取り付けます。（※振動が多い車両への取り付けは、別売りの防振ステーを必ずご使用ください。）【図７】

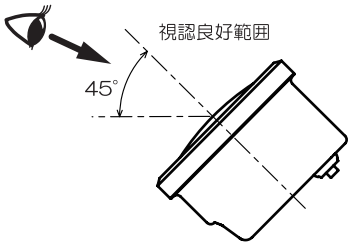
▼⑥V字ブラケットの取り付け穴（φ10mm）を利用して、車体に①メーター本体を取り付けます。（取付用 M10 ボルトは取付場所に合った長さのものを別途お買い求めください。）
※取り付け時、目線が視認良好範囲に入るようにメーターの取り付け角度を調整してください。それ以外の角度で取り付けた場合は文字が薄く見える等、視認性が悪くなります。
【図８】
※ハンドルにクランプする場合は別売りのマルチハンドルクランプをご利用ください。

▼①メーター本体を車体に取り付けしたら、ハンドル操作に支障が無いよう確認しながら結束バンド等で配線を固定します。
車両運転中に配線が引っ張られたり、部品の隙間に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に配線を固定してください。（配線固定用の結束バンド等は別途お買い求めください。）

【図７】



【図８】



■各種初期設定■　～準備

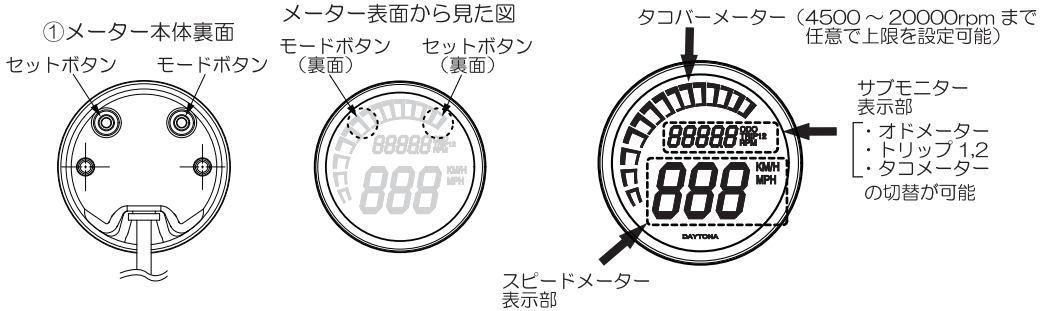
⚠注意

●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でタイヤを回す作業が生じます。センタースタンドやレーシングスタンドを使用して、周りの安全を十分に確保してから作業を行ってください。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたりタイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行ってください。

初期設定前の準備

●純正スピードメーターが電気式の場合や機械式スピードメーター装着車でメータギアがエンジンに装着されている車両は、車体をセンタースタンドまたはレーシングスタンドを使用してリアタイヤを浮かせます。（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。）
●純正スピードメーターが機械式で、メーターギアがフロントホイールに付いている車両は、フロントスタンドを使用してフロントタイヤを浮かせます。（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。フロントスタンドは、必ずリアスタンドと併用して車体を固定してください。）
●スタンド等でタイヤを浮かせることが出来ない場合には、タイヤを１０回転程回せるぐらい移動できる広い場所で作業を行ってください。

各部名称とボタン操作の説明



■モード切替と設定■

通常時のモード切替（サブモニター）

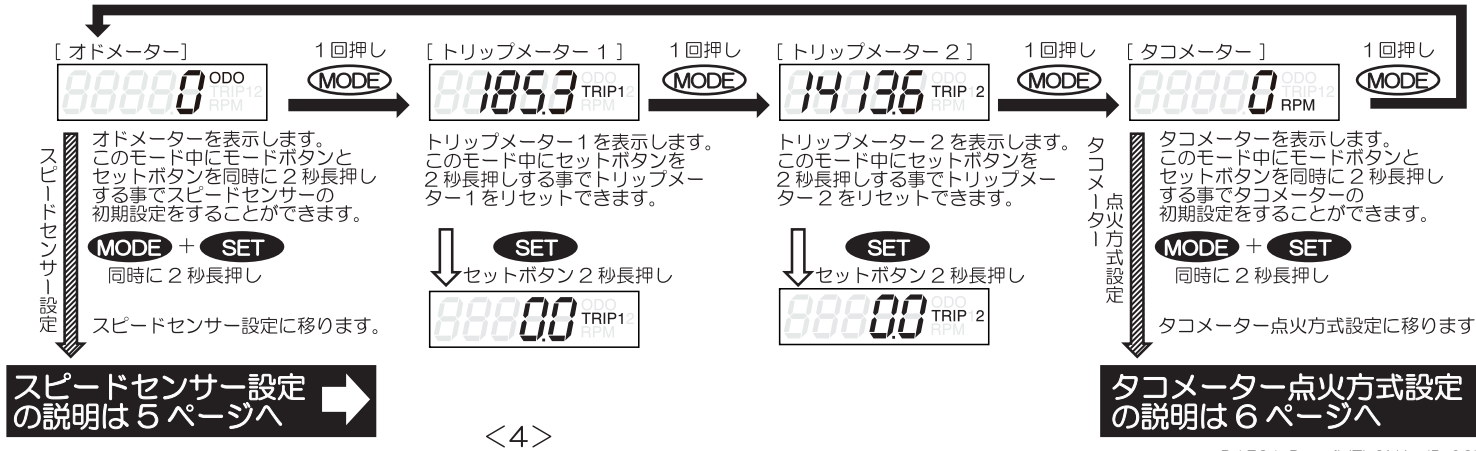
操作ボタンのアイコン表示

SET ＝セットボタンを１回押します（１秒以内）
SET ＝セットボタンを２秒 長押しします
MODE ＝モードボタンを１回押します（１秒以内）
MODE ＝モードボタンを２秒 長押しします
MODE ＋ SET ＝ モードボタンとセットボタンを同時に２秒 長押しします

ワンポイント

スピードセンサー設定、タコメーター点火方式設定は各項目で一連の流れになります。作業を開始する前に、事前に登録の各項目を一読しておくと設定がスムーズに行えます。

●電源投入時に表示される画面で、モードボタンを１回（１秒以内）押すごとにサブモニターの表示モードが切り替わります。（黒矢印 ➡）
※画面に表示が出ないときには２ページ、３ページの配線図や取付方法をご確認ください。



スピードセンサー設定の説明は５ページへ ➡

タコメーター点火方式設定の説明は６ページへ ➡

■スピードセンサー設定■

●スピードセンサーパルスの登録は以下の手順を踏んで登録します。
手順１．スピード表示切り替え設定をします。[km/h]
手順２．パルス計測：パルス登録モードの①オートカウントモードでタイヤ１０回転で発生するスピードパルス数を計測します。
手順３．タイヤ外周の測定：スピードセンサーが装着されている方のタイヤの外周を測定します。
手順４．入力値計算：①オートカウントモードで計測したパルス数とタイヤ外周から、パルス登録するための数値を計算します。
手順５．パルス登録：算出した数値をパルス登録モードの②マニュアルモードで登録します。

手順スタート

[オドメーター]

オドメーターを表示します。（ODO表示）
サブモニターにオドメーターを表示中、モードボタンとセットボタンを同時に２秒長押しする事でスピードセンサーの初期設定をすることができます。

スピードセンサー設定

MODE ＋ SET
同時に２秒長押し

手順がわからなくなったら？
手順がわからなくなったり間違ってしまった場合は、一度イグニションキーを OFF にして始めからやり直してください。

手順１．スピード表示切り替え設定

スピード表示切り替え

″KM/H″ と ″MPH″ の切替をします。

″ 表示点滅中に MODE ボタンを押すごとに ″KM/H″ と ″MPH″ の表示が切り替わります。通常は ″KM/H″ にあわせてください。（工場出荷時 ″KM/H″ ）

セットボタンを２秒長押しするとスピードセンサーパルス入力設定に移ります。

SET
２秒長押し

KM/H ：キロメートル
MPH ：マイル

手順３．タイヤ外周の測定

▼スピードセンサーが付いている方のタイヤ（電気式スピードメーター取付車ではリアタイヤ、フロントタイヤからメーターギア変換アダプターを使用している場合にはフロントタイヤ）の外周をメジャー等で測り数値を控えます。

タイヤ外周寸法 = Ⓑ [　　]　（記入参考例：タイヤ外周寸法=1205mm）

手順４．入力値計算

下の計算式に当てはめて計算します。
（下の計算式は１ｋｍ走行したときに何回パルス信号が発生するかを実走行しないで計算で求める式になります。）

例：　タイヤ外周寸法=1205mm、 パルス数値（タイヤ 10 回転）=98　とした時
タイヤ外周寸法をミリメートルからキロメートルに換算　→　1205mm ÷ 1000000 = **0.001205ｋｍ**
パルス数値（タイヤ 10 回転）をタイヤ１回転のパルス数値に変更　→　98 ÷ 10 = **9.8**

【式】 入力値＝１[ｋｍ] ÷ タイヤ外周寸法[ｋｍ] × タイヤ１周のパルス数（10 周のパルス数 ÷10）

例の数値で式を求めると
入力値＝1 ÷ 0.001205 × 9.8　=8132.78　四捨五入すると入力値は　**例 8133**　になります。

タイヤ外周[ｋｍ]= Ⓑの値を記入 **÷ 1000000 =** Ⓒ [　　] **タイヤ外周寸法[ｋｍ]**

パルス数値[タイヤ１回転]= Ⓐの値を記入 **÷ 10 =** Ⓓ [　　] **パルス数値[タイヤ１回転]**

入力値= 1÷ Ⓒの値を記入 **×** Ⓓの値を記入 **=** Ⓔ [　　] **手順５．でこの数値を入力**

初期設定自動計算フォーム
ＱＲコードを携帯電話で読み込んでご使用ください。
タイヤ外周（mm）とタイヤを 10 周回して検出されたパルス数値を入力すると自動で入力値を計算します。

手順２．パルス計測

パルス登録モード

① オートカウントモード
サブモニターに ″CALAU″ と表示されます。

MODE

40km/h 登録モード
サブモニターに ″CALSA″ と表示されます。

※このモードは使用しません。

MODE

②マニュアル登録モード
サブモニターに ″CALNU″ と表示されます。

※この手順では使用しませんので
①オートカウントモードに戻してください

MODE

※パルス登録モードは約３０秒間ボタン入力を行わないと通常時のモード切り替え（オドメーター表示）に戻ります。

SET
２秒長押し

サブモニターに ″CALAU″ と表示されい状態で セットボタンを２秒長押しすると①オートカウントモードに移ります。

２秒長押し後は ″go″ 表示になります。モードボタンを１回押すと ″０″ が点滅表示になりパルス計測に移ります。

１回押し
MODE

“０” が点滅してスピードパルスの信号を受け付ける状態になったらスピードセンサーが付いている方のタイヤ（電気式スピードメーター取付車ではリアタイヤ、フロントタイヤからデンスピ変換アダプター等を使用している場合にはフロントタイヤ）を正確に１０回転してその時に表示されている数値を読み取り数値を控えます。
※タイヤ回転速度が遅いとパルスを発生しない車両もありますので可能な限り一定速度で素早く回してください。
（タイヤを浮かせることが出来ない場合には、タイヤの一部に印を付けてタイヤが１０回転回る距離だけ車両を動かしてください。）

パルス数値（タイヤ１０回転）
Ⓐ [　　]
（記入参考例：パルス１０回転=98）

数字が変化しない場合には④スピードセンサーハーネス（白）の接続を確認してください。
表示を確認したらモードボタンを１回押して計測を停止します。

１回押し
MODE

計測停止後、セットボタンを２秒長押しすると通常時のモード切り替え（オドメーター表示）に戻ります。

SET
２秒長押し

[オドメーター]

通常時のモード切り替え（オドメーター表示）に戻ったら、手順３．タイヤ外周の測定に進んでください。

手順５．パルス登録

手順スタートから手順１．スピード表示切り替え設定の項目を再度経由してから手順５．パルス登録に進みます。

パルス登録モード

① オートカウントモード
サブモニターに ″CALAU″ と表示されます。

※この手順では使用しませんので
②マニュアルモードに戻してください

MODE

40km/h 登録モード
サブモニターに ″CALSA″ と表示されます。

※このモードは使用しません。

MODE

②マニュアルモード
サブモニターに ″CALNU″ と表示されます。

MODE

※パルス登録モードは約３０秒間ボタン入力を行わないと通常時のモード切り替え（オドメーター表示）に戻ります。

SET
２秒長押し

サブモニターに ″CALnU″ と表示されている状態で セットボタンを２秒長押しすると②マニュアルモードに移ります。

２秒長押し後は、前回設定したパルス値を表示します。
モードボタンを１回押すと万の桁 ″０″ が点滅表示になりパルス入力に移ります。

MODE １回押し

SET
数回押し

点滅している桁をセットボタンを数回押して数字を入力します。（例 8133 を入力）
モードボタンを １ 回押すと桁が切り替わります。

１回押し
MODE

SET
数回押し

セットボタンを押すごとに数字が 1,2,3,･･･と上がり、９までいくと０に戻ります。数字を入力してモードボタンで桁移動をし、各桁の数字を入力してください。

MODE １回押し（桁移動）

SET
数回押し

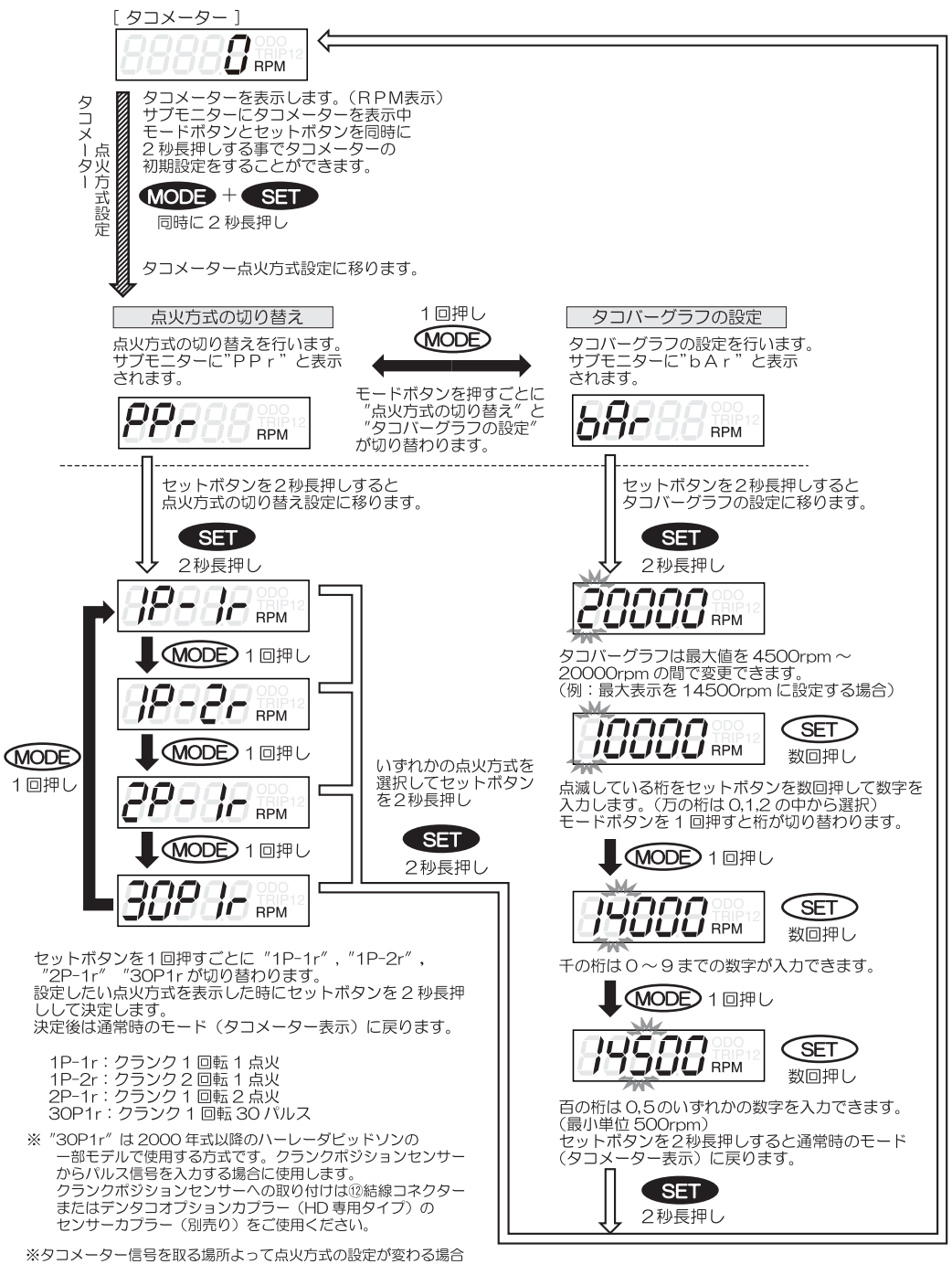
一の桁まで数字の入力が完了したらセットボタンを２秒長押しすると通常時のモード切り替え（オドメーター表示）に戻ります。

２秒長押し
SET

[オドメーター]

通常時のモード切り替え（オドメーター表示）に戻ったら、スピードセンサー設定は終了です。
スピードメーターが正しく表示するか確認してください。
数値を正しく表示しない場合はもう一度設定をやり直すか、Q&Aの ″走行中、表示速度が実際の速度と違う″ の項目を確認し、数値のズレを調整してください。

■タコメーター点火方式設定■



セットボタンを１回押すごとに ”1P-1r”，”1P-2r”，
”2P-1r” ”30P1r が切り替わります。
設定したい点火方式を表示した時にセットボタンを２秒長押
しして決定します。
決定後は通常時のモード（タコメーター表示）に戻ります。

1P-1r：クランク１回転１点火
1P-2r：クランク２回転１点火
2P-1r：クランク１回転２点火
30P1r：クランク１回転 30 パルス

※ ”30P1r” は 2000 年式以降のハーレーダビッドソンの
一部モデルで使用する方式です。クランクポジションセンサー
からパルス信号を入力する場合に使用します。
クランクポジションセンサーへの取り付けは⑫結線コネクター
またはデンタコオプションカプラー（HD 専用タイプ）の
センサーカプラー（別売り）をご使用ください。

※タコメーター信号を取る場所よって点火方式の設定が変わる場合があります。各車両に合わせて点火方式を選んでください。

■ Q&A ■

・本体の電源が入らない

電源が供給されていない可能性があります。
２ページの配線図を確認しながら②③電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。

・スピードセンサーパルス入力のオートカウントモードでパルスが計測出来ない。

スピードメーター信号が入力できていない可能性があります。
④スピードセンサーハーネス（白）がしっかりと接続されているか確認してください。
別売りのデンスピ変換アダプター（品番：61128）を使用している場合には、デンスピ変換アダプターの電源がうまく取れていない可能性があります。３ページの取付方法”●純正スピードメーターが機械式の場合”の図３を確認して再度接続をしてください。
車両により、純正のスピードメーターを外すことによって車速センサーへの電源供給が絶たれてしまう場合があります。
その場合には車体の車速センサーの電源を別途配線していただく必要があります。

・走行中、スピード表示が安定しない。

車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。
フラグコードやイグニッションコイル等のノイズによりスピードメーター信号がうまく読み取れていない可能性があります。プラグコードやイグニションコイル付近を避けて配線を取り回してください。プラグコードやイグニションコイル付近から配線を離せない場合には、配線をアルミテープ等で巻くなどしてノイズ対策を行ってください。

・走行中、表示速度が実際の速度と違う。

スピードパルス初期設定登録時、パルス計測値や距離入力値に誤差があった場合には、表示がずれる場合があります。
純正で電気式スピードメーターを採用している車両では、純正スピードメーターと DIGITAL VELONA スピード&タコメーターを同時に取り付けることが出来ます。この際、速度表示に誤差があった場合には、任意で誤差を調整することが出来ます。純正スピードメーターの速度よりも DIGITAL VELONA スピード&タコメーターの表示速度が遅かった場合にはスピード設定登録、マニュアル登録モードのパルス入力値の数字を下げてください。（速度表示を 10% あげたい場合、入力値を 10% 少なく入力してください。）
例　元の入力値=5500 だった場合→5500 - 550（10%）=4950 を入力（入力値１０%ダウン → 表示数値 10%アップ）

※保安基準「速度計の技術基準」の規定内に入るように設定してください。（保安基準第 46 条（速度計等））
速度計の指数と自動車の走行時の速度との関係式

$0 \leqq V_1 - V_2 \leqq V_2 / 10 + 8$　　V_1：速度計の指数（ｋｍ/ｈ）　V_2：自動車の走行時の速度（ｋｍ/ｈ）

※本商品は、低速時よりも高速時のほうが表示誤差が大きくなります。純正スピードメーターと速度表示の比較をする場合は、40ｋｍ/ｈ以上で比較を行い、誤差を調整してください。

・オドメーターの変更が出来ない。

オドメーターを現在の走行距離に合わせたり、リセットすることは出来ません。リセットできるのはトリップメーター１、２になります。

・エンジンを始動しても回転数を表示しない。

回転パルス信号が入力できていない可能性があります。
⑤RPM センサーハーネス（黄）がしっかりと接続されているか確認してください。車両によってスパークプラグコード、イグニションコイル 1 次側または ECU(※) のどれか１ヶ所から信号を拾うことが出来ません。設置前に操作の確認を行ってから取り付けしてください。2000 年式以降のハーレーダビッドソンの一部モデルでは上記の接続では信号が取れません。
クランクポジションセンサーからパルス信号を取るよう配線してください。
※純正車両に電気式のタコメーターが装着されていない車両は、ECU からの回転パルス信号が出ていない場合があります。

・レッドゾーン付近に入ると回転数を正確に表示しない。

車種によってレブリミッターが作動して点火パルスをカットしている場合があります。
レブリミッター作動時にはタコメーターが正確に回転パルス信号を拾うことが出来ません。

・走行中、回転数表示が安定しない。

車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。
電装強化系のパーツや高出力のHIDなどを同時装着した場合、ノイズの影響を受けて表示が安定しない場合があります。各配線にアルミテープを巻いてアースに落としたり、配線の取り回しを変更したりして、その他の電装品とは極力離して設置してください。

・液晶パネルが黒くなり表示が見えなくなる。

直射日光がメーターに当たり続けて本体内部が一定の温度を超えてしまうと液晶パネルが黒化してしまう場合があります。液晶部品の性質上の問題で、商品の仕様となりますので、症状が発生した場合には日陰等でメーターの温度を下げていただくことにより解消されます。

・レンズが曇る、結露して表示が見えない。

雨天時の走行や気温の変化によって、本体レンズ裏側に水滴が付いたり、結露して曇ってしまう場合があります。通常は時間の経過とともに消えますが、あまりにひどい場合には以下のことをお試しください。
本体裏の設定ボタン（モードボタン、セットボタン）のゴムを外します。風通しの良いところで数時間置き、本体内の水分を取り除いてください。レンズの水滴や曇りが取れたら設定ボタンのゴムをはめ込み、もとの状態に戻してください。